

令和3年度 第2回糸島市総合教育会議 議事録

【開催日時】 令和4年2月24日（火） 15時00分から15時40分まで

【開催場所】 糸島市役所 本館3階 庁議室

【出席者】

（構成員）

月形 祐二市長（議長）、西 憲一郎委員、古川 泰永委員、宗 聖子委員、
家宇治 正幸教育長（※松尾 実恵委員は欠席）

（事務局）

中村 隆暢企画部長、野口 治光秘書広報課長、川山 裕一秘書広報課秘書係長
（教育委員会事務局）

小金丸 敏浩教育部長、土肥 英雄教育総務課長、吉永 政博学校教育課長、
山下 千恵子生涯学習課長、村上 敦文化課長、岡部 裕俊文化課企画監、
金子 剛教育総務課総務係長

（傍聴人）

なし

【開会】

■月形市長

ただいまから、『令和3年度 第2回 糸島市総合教育会議』を開催する。
会議規則第4条第1項の規定に基づき、進行を務めさせていただきます。

【議事録署名構成員の指名】

■月形市長

会議規則第9条第3項の規定に基づき、構成員の中から1名を指名させていただきます。
「西 憲一郎委員」を議事録署名構成員に指名させていただきます。
⇒異議なし。

【協議事項】

（1）次期糸島市教育大綱（案）について

■月形市長

それでは、協議事項に入る。
次期糸島市教育大綱案について、構成員の皆様からのご意見をお伺いしたい。

[主な質問・意見]

■古川委員

8ページの重点目標5『安全・安心をしっかりと支える教育環境の整備』について。この総合教育会議の前に開催された教育委員会議の中で、令和4年度からの加布里小学校のトイレ洋式化について説明があり、事業が完了すれば加布里小学校の洋式化率が88%になるとのことであった。この件について、他の小中学校ではもう洋式化が完了しているのか、加布里小学校が遅れているのかと質問したところ、これから洋式化を進めていくとのことであった。予算の問題もあるだろうが、子ども達が安心して利用できるよう、できる限り早く整備していただくようお願いしたい。

大綱案については、前回の総合教育会議において、私たち各委員がお伝えした教育に対する思いや意見をきちんと整理され、しっかり大綱案に関連付けていただいていると思う。

■月形市長

トイレの洋式化については、子ども達の教育環境の中でも、時代の流れとして早急に取り組んでいかなければならない課題だと思っている。予算との兼ね合いもあるが、国の予算も確保しながら、しっかり進めていきたい。

■西委員

大綱案については、前回の総合教育会議における私たちの意見を踏まえた上で、前大綱に修正がなされており、また、第2次糸島市長期総合計画やSDGsとの関連付けなど、全体としてわかりやすくまとめられていると思う。

3ページにある基本目標『教育がブランドとなる都市いとしまの創造』について、通常『ブランド』という言葉は、商品やサービスの価値が他と比べて差があり、魅力があるものという意味合いがあると思うが、私が思う『教育がブランドとなる都市』というのは、他都市と比べて糸島の教育が素晴らしいものであり、素晴らしい価値や強みをもっているという意味合いになるのではないかと思う。そして、それに対し、市民が糸島の教育に魅力を感じるのだと思っている。前大綱の基本目標を引き継ぐということには納得しているところであるが、他都市と比べて糸島の教育に魅力があるということをもう少しわかりやすく示してみてもどうか。サブタイトルに『生涯にわたる教育・学習の充実による人づくり』とあるが、さらに『糸島がもつ独自の強みを生かした教育・学習』というようなことを加えたほうが、よりわかりやすくなるのではないかと思う。糸島がもつ独自の強みというのは、やはり緑豊かな自然や田園風景、古代のロマンを秘めた歴史や文化、九州大学の知的資源、活発なボランティア活動など地域の潜在的な教育力の強さ、学校と地域の密接なつながりなど、こういったものが糸島の強みではないかと思う。そのため、現在のサブタイトルの前段にそのようなことを加え、サブタイトルを『糸島のもつ独自の強みを生かし、生涯にわたる教育・学習の充実による人づくり』

とすることで、教育がブランドとなる都市という意味合いが、よりわかりやすくなるのではないかと思う。ぜひ検討いただきたい。

また、4 ページ以降の『重点目標達成のための方向性』に掲載している主な取組として、長期総合計画から抜粋し、それぞれ基本目標や政策などの位置付けが示されているが、基本目標という文言が、大綱と総合計画で同じものになっており、市民から見るとわかりにくいいため、注釈などを入れた方がわかりやすくなると思う。あわせて検討いただきたい。

■月形市長

基本目標の文言の重複については、注釈を入れて対応させていただく。

サブタイトルの件については、委員の皆様からご意見があれば伺いたい。

■家宇治教育長

教育委員からの強い思いということで、あとは事務局で判断していただければよいと思う。

■月形市長

大綱の基本目標の修正については、事務局に一任させていただく。

■宗委員

前回の総合教育会議の各委員の意見をしっかり反映していただき、感謝している。意見として、8 ページの重点目標5『安全・安心をしっかりと支える教育環境の整備』について、しっかりと支えるということも大変素晴らしいことであるが、今の安全・安心をより高めるという意味を込めて、『安全・安心をより高めながら支える教育環境の整備』としてはどうか。

■事務局

現状で得られている安全や安心を、より安全・安心にということによろしいか。

■宗委員

そのとおりである。ぜひ検討いただければと思う。

■月形市長

全体のバランスを考えた上で、文言等について事務局で検討させていただく。

■宗委員

教育予算について、先ほどの教育委員会議で資料を拝見した。様々な子ども達の教育についてしっかり検討いただき大変感謝している。子ども達のよりよい教育環境に向けた取組を今後も引き続きお願いする。

■家宇治教育長

この大綱案は、第2次糸島市長期総合計画で教育部局が推進すべきとする内容が網羅されている。学校教育、社会教育、生涯学習、文化・芸術などの分野、また、学校教育の方向性としても、郷土を愛する人づくりやグローバルに活躍できる人材の育成、九州大学をはじめとする協定大学等との連携など、これらをすべて網羅しながら推進していく形になっており、よくまとめられていると思う。

また、糸島市全体で取り組むべき教育の姿が具体化されている。たとえば、エネルギー問題や通学路の問題、人権啓発や福祉支援など、教育部局だけでは解決できない様々な課題が、この大綱の中にすべて網羅されている。要するに、糸島の教育は教育委員会、教育部局が推進するのではなく、糸島市全体で取り組んでいくという姿勢がこの大綱の中に見える。よく整理されており、きちんと方向性が示されているものになっていると思う。

糸島市教育振興基本計画は、総合計画の方針と直結しなければならないわけではないが、総合計画への位置付けは明確にする必要があり、今回の大綱案により、そのことがあらためて整理されているため、振興計画が作成しやすくなったと思う。

また、大綱案にもあるように、組織改編により、新しい組織に変わっても、それぞれの部署がそれぞれの分野で、総合計画に基づいて各種取組を進めていく。教育部局の役割としても、非常に幅広い分野から取り組める形となり、振興計画が作成しやすくなった。細かい文言等の修正については、事務局に任せたいと思う。市民が見てわかるよう整理していただきたい。

■月形市長

大綱全体については、前回の総合教育会議の際の皆様のご意見をしっかり反映させていただいていると思う。本日の委員の皆様のご意見をもとに、文言の修正等については、事務局に一任させていただく。

大綱案としては、了承をいただいたということでよろしいか。

⇒了承。

■月形市長

教育大綱は、私の教育に対する思いを中心に作成させていただいているが、市長部局が枠をはめるのではなく、教育については、子どもから大人まで市全体が積極的に関わり、その中で大きな枠組みを示していくのが教育大綱と思っている。

今後も皆様のご意見、ご指導をいただきながら、よりよい糸島の教育、ブランドとなる教育を目指していきたいと思っている。

(2) その他の協議事項

■月形市長

そのほか、委員の皆様から、協議事項等あればお願いします。

⇒なし。

【その他】

■月形市長

議事以外の件について、事務局から説明をお願いします。

■事務局

本日の会議において、大綱案を了承いただいたので、皆様のご意見をもとに、事務局で文言等の修正について検討、反映したものを最終案とさせていただく。あわせて、3月に予定していた会議は実施しないこととする。

最終的には、次期糸島市教育大綱として市長が決定することとなるため、決定後、皆様にはあらためてお知らせする。

【閉会】

■月形市長

以上をもって、令和3年度第2回糸島市総合教育会議を閉会する。

糸島市総合教育会議規則第9条第3項の規定に基づき、ここに署名する。

(糸島市長)

(議事録署名構成員)
